

佐々総合病院 創立

ささ舟-SASABUNE-

患者様×地域×佐々総合病院をつなぐコミュニケーションマガジン

Vol.29 佐々総合病院

2019.10.01

Contents

- 地域対談
- 公開講座の紹介
- 自衛消防団
- 創立111年年表
- KYTカルタ
- 地域のクリニック紹介
- 職員が通う名店
- 佐々っとレシピ



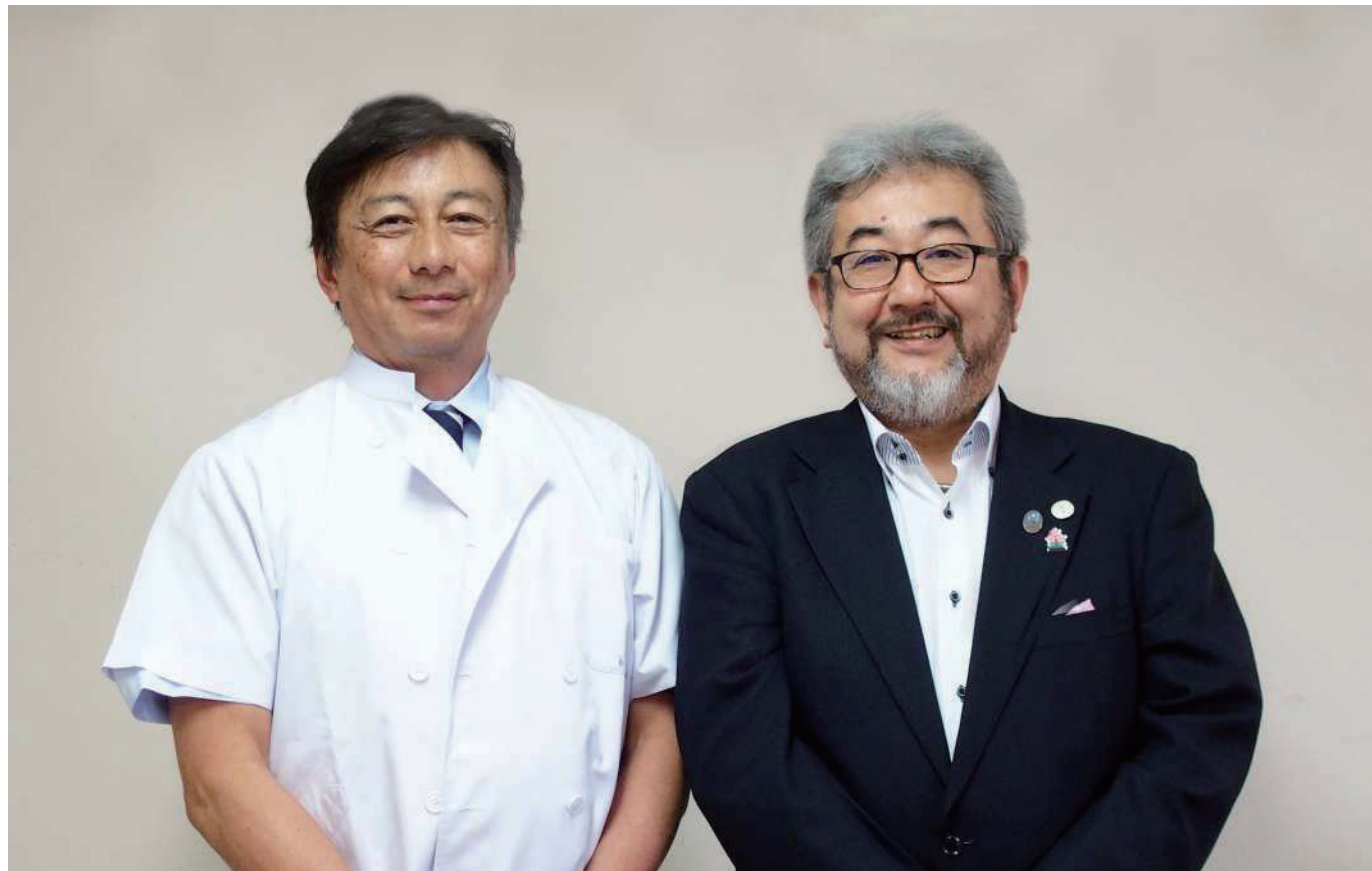
ご自由にお持ち帰りください
Feel free to take

Area Talk

地域対談

指田医院 院長
西東京市医師会 会長

指田純先生



医療法人社団時正会
佐々総合病院 院長

鈴木隆文

西東京市医師会 会長
医療法人社団 吾勢会
指田医院 院長

指田純

田無駅北口からほど近く、佐々総合病院からもすぐの指田医院。院長 指田純先生は、一般社団法人西東京市医師会の会長も務められています。そのお忙しい時間を少しお借りし、医師会についてと医師会と市民の関わりについてお話を伺ってきました。

鈴木: 指田先生、本日はお忙しいところありがとうございます。私は5年前から自身の出身地である田無の佐々総合病院で勤務をしていますが、病院内の仕事はもとより、病院外のお仕事の際には、中学の先輩でもある指田先生にご助言いただき感謝しております。本日もよろしくお願ひ致します。

■ 医師会について

鈴木: まず医師会とはどういうものか、お教えいただけますか？

指田: 西東京市医師会は主に下記の活動を行っております。

- ① 医師会員の利益を守ること。
- ② 市民のために診療所やクリニックと協力し、診療・予防医学の提供や公衆衛生的な活動を行う。
- ③ 医療の向上を目的とした研修会、学術的な取り組みを行う。

2001年1月21日に旧田無市と旧保谷市の合併による西東京市の誕生を受けて、既存の両医師会が協議の上、2003年4月に設立されました。現在では118診療所の医師、佐々総合病院を含む6病院、合計278名からなる組織になりました。

■ 具体的な取り組み

鈴木: 具体的な取り組みについて教えてください。

指田: 予防医学を中心に近年では主に下記のような取り組みを行っております。

- ① 胃がんハイリスク検診(平成23～25年)
- ② おたふくかぜ、水痘ワクチン接種助成(平成24年)
- ③ 在宅療養における後方支援病床連携推進事業(平成25～27年)
- ④ 認知症予防のための聴覚検診(平成29年～)

予防接種を行うことで病気にかからないようにする、健診の推進により早期発見に繋げる疾病対策を行っています。また今後は、フレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）予防、地域包括ケアシステム（医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制）構築にも積極的に取り組んでいかなければならないと考えております。

鈴木:素晴らしいことだと思います。また、西東京市医師会は非常に会員相互の勉強会が進んでいるように思いますが・・・。

指田:そうですね。学術的な面では、総合的な診療に対する勉強会から、専門分野においては内外部から講師を招いての講演会まで行っています。さらには、先ほど挙げた検診などの結果をもとにデータをまとめ上げ、学会発表など行っております。

鈴木:私も消化器が専門ですので、胃がんハイリスク検診に関する調査結果を読ませていただきました。あれは今後の検診のあり方までを考える全国レベルでも評価が高いもので驚きました。



指田:最近では認知症予防のための聴覚検診を行いました。実は、根拠となるしっかりとしたデータが世界的にも無いのが実情です。難聴が認知機能に及ぼす影響の検証、認知症の進行の抑制を目的に、医師会として取り組むことになりました。市民に対して聴覚検診と認知機能スクリーニング検査を実施して3年目となりました。その結果に自民党の「難聴対策推進議員連盟」からも関心を寄せていただき、プレゼンする機会をいただきました。

鈴木:素晴らしいですね。予防とはちょっと違いますが、佐々総合病院は災害拠点病院^{※1}に指定されているため、災害に備えて日々訓練を行ってきました。しかしながら、このところ日本中で起こっていることを報道で見ることが多いのですが、そのたびに地域や行政、医師会など病院外の方とのコミュニケーションの大切さを感じております。そのような思いから、この度、市長、副市長、西東京市、西東京消防、西東京医師会、町会、消防団などに呼びかけさせていただいて、合同で広域災害訓練^{※2}を実施させていただくことになりました。12月7日(土)に開催されますので、ご協力



のほどよろしくお願い致します。

指田:医師会としても災害対策は力を入れていかねばならないことなので、こちらこそよろしくお願いします。

鈴木:本日はありがとうございました。

※1 災害拠点病院…地震・津波・台風等の災害発生時に災害医療を行う医療機関を支援する病院

※2 広域災害訓練…行政機関・医療機関等が地域住民と連携し災害発生時を想定した訓練を行うこと

(以上)

【経歴紹介】

指田純医師（専門：脳神経外科）

昭和46年 田無小学校 卒業
昭和49年 田無第一中学校 卒業
昭和52年 都立武蔵高等学校 卒業
昭和59年 帝京大学医学部 卒業
昭和59年 帝京大学附属病院
昭和61年 帝京大学附属市原病院
平成6年 間中病院 脳神経外科部長
平成7年 公立昭和病院 脳神経外科医長
平成11年 指田医院（三代目院長）
平成29年 西東京市医師会長 就任

指田医院HP：<http://www.sashida-clinic.jp/>

西東京医師会HP：<https://www.nishitokyo-med.jp/>

鈴木隆文医師（専門：消化器外科）

昭和48年 小平第五小学校卒業
昭和51年 田無第一中学校 卒業
昭和54年 芝高等学校 卒業
昭和60年 昭和大学医学部 卒業
昭和60年 東京女子医大消化器病センター
平成11年 多摩南部地域病院 外科医長
平成21年 明理会中央総合病院 外科部長
平成22年 高木病院 外科部長
平成24年 東戸塚記念病院 院長
平成26年 佐々総合病院 副院長／外科部長
平成29年 佐々総合病院 院長

Medical Open Lecture Introduction

医療公開講座紹介

佐々総合病院は、地域のみなさまを対象に医師や医療技術者の立場から医療についてわかりやすく解説する「医療公開講座」を開催しています。2014年7月に始まった医療公開講座は、2019年8月30日に第100回目を迎えました。これも日頃よりお越しいただいている皆さまのおかげです。今回ささ舟では今年の8月～9月に開催した講座をダイジェストでご紹介します。今後の講座予定は本紙の裏表紙に掲載しておりますので、ぜひご確認ください。



早期発見と痛みの少ない治療

【講師】院長 鈴木隆文

【講座内容】佐々総合病院で現在受けられる治療と、各診療科及び病院としての今後の取り組みについてお話しいただきました。

【皆さまからの声】

「いろんな面が見れてよかった」

「院長のお話し、何年も佐々病院でお世話になっていますが、更に安心感をいただくことができました」



西東京市消防コラボ企画 -佐々の救急×西東京救急隊-

【講師】副院長 救急科 部長 古川達也

西東京消防署西原出張所 所長 井上修

【講座内容】9月9日は救急の日ということで、西東京消防とコラボ企画で開催した講座。前半は救急科の古川医師が病院の救急車受入件数をはじめとした病院の救急車事情についてお話ししました。後半は井上所長から地域の救急隊情報と#7119を掛ける際のポイントなど緊急時の具体的な行動についてお話しいただきました。

【皆さまからの声】

「119や#7119の適正や実際の救急の現状などが聞けて良かったです」

「地域に密着したお話で分かりやすかったです。また来てみたいです」

Chronology

創立111年年表-西東京の歴史と共に- No.1(1890年～1975年)

1908年に西東京の地で創立した佐々総合病院は今年で111年を迎えました。これを記念し、病院と西東京の歴史年表を作成することとなりました。作成にあたり佐々総合病院では西東京の歴史にまつわる写真を募集します。詳しくは本紙の裏表紙をご確認ください。

1908

佐々時達により佐々医院
(現 佐々総合病院)開業



1942

新棟新築(20床)



1900

1920

1940

1893

東京府北多摩郡田無町
となる
田無警察の分署が出来る

1924

武蔵野鉄道に
(現 西武池袋線)
田無町駅ができる
(現 ひばりが丘駅)



1915

武蔵野鉄道
(現 西武池袋線)開通
田無に電灯がひかれる

1922

田無に電話開通

1927

西武鉄道(現 西武新宿線)
高田馬場～東村山間 開通
田無駅開業

1935

シチズン時計
田無工場開設

Self-defense fire fighting

自衛消防団

2019年9月2日（月）田無自動車教習所で開催された自衛消防審査会（西東京市）に佐々総合病院の職員3名が参加しました。

自衛消防審査会とは、盤石な防火管理体制の構築と、災害時の自衛消防活動能力の向上を目的とし、西東京消防署管内の各事業所の自衛消防隊の代表選手が訓練成果を競う会です。

今年度、佐々総合病院からは3名の女性職員が自衛消防隊として参加し、結果は総合7位となりました。



指令官 2-3病棟 大内小夏



2番員 総務課 上田幸奈

1番員 放射線科 三田真由美



1944
佐々病院に改組

1946
2代目院長
佐々正達就任

1955
航空写真



1961
田無駅南口に分院
佐々産院設立(28床)



1962
佐々病院14床増床(合計60床)
佐々産院3床増床(合計31床)

1964
佐々病院増改築
(地上3階、地下1階、94床)

1969
佐々病院新館増築
(106床、一部女子寮)

1973
佐々病院増改築(133床)
同時に佐々産院を併合

1960

1951
都市ガスが
引かれる

1946
明治薬科大学
田無校開設



1955
田無駅前

1967
市制施行
田無市となる

1963
町営水道ができる

1961
国民皆保険制度開始



1973
1972年に全焼した田無
一中の跡地に新校舎設立

KYT Karuta

KYTかるた



Kiken Yochi Training



形成外科 部長
堀口雅敏

日常に潜むケガのきっかけを未然に見つけるトレーニング、危険(Kiken) 予知(Yochi) 訓練(Training)、略してKYT。

ささ舟では、いろはカルタ形式でケガしやすい場面を紹介していきます。どうぞ皆さんも一度身の回りでKYTしてみてください。



火を使わずにいつでもお湯が用意できるポットや電気ケトル。大変便利ですが小さな子供は中に100℃近い熱湯が入っていると理解できず、オモチャ感覚でいたずらして大やけどを負う事故が起きます。

電源コードも含め必ず子供の手の届かない場所に置きましょう。

ポットや電気ケトル



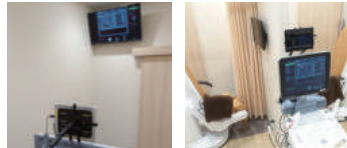
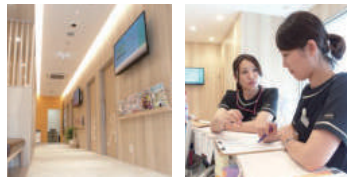
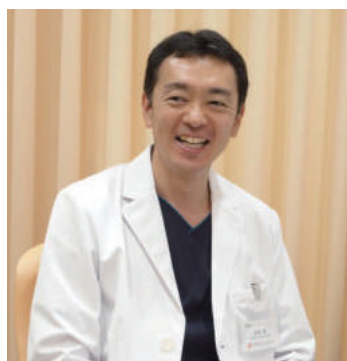
ペットも咬みます

日頃従順で家族のように接しているペットでも、ふとしたきっかけで飼い主に咬みつく(引っ掻く)ことがあります。しつけや扱いにもよりますが、「ペットだから絶対大丈夫」はないと頭の片隅に置いておいてください。

もちろん私も動物は大好きですよ。

Local Clinic Introduction

地域のクリニック紹介 - 花小金井レディースクリニック -



↑診察台正面の上に設置されたモニター

今回は、花小金井駅から徒歩3分、2019年7月に開院した「花小金井レディースクリニック」をご紹介します。

診療科目は産婦人科で、妊婦健診／不妊・不育相談／婦人科診療／女性ヘルスケアの4つを柱として診療を行っています。

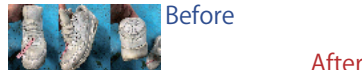
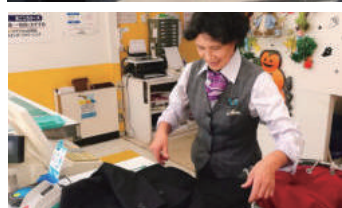
診察室・待合室共に産科と婦人科で分かれており患者様同士が顔を合わせずに済むよう配慮されています。院内はコンセント、フリーwi-fiも完備され、待ち時間を有効に使える工夫がされています。また、web予約も導入しており、待ち時間をメールでお知らせするので、院内で待つ必要もありません。キッズルームも設置され、お子様を連れての通院も安心です。

診察室では、患者さんが診察台に横になった状態でエコー画面が見れるよう、天井付近にモニターを設置するなど、診察室の中にも患者さんを思った院長ならではの多くの工夫で溢れていました。

- ◆院長：長島 隆 ◆診療科：産婦人科
- ◆受付時間：平日8:30~12:00/14:30~18:00 土曜日8:30~13:00
- ◆休日：土曜日午後・水曜日・日曜日・祝日
- ◆住所・連絡先：☎042-497-5218
〒187-0003東京都小平市花小金井南町1-19-3 SORA1階
- ◆ホームページ：https://www.hanako-ladies.com/

Local Famous store

職員が通う名店



24時間365日、交替で働く当院の職員が、勤務の前後や休憩時に通う名店を紹介します！今回は当院から1番近いクリーニング屋さん、「ひばりクリーニング 田無店」をご紹介します。

この地で30年以上の老舗でスーツや洋服はもちろん、最近ではスニーカークリーニングにも力を入れています。スニーカー専用機械で殺菌効果のある靴専用洗剤を使い洗浄、しつこい汚れは手作業で復元加工を施します。除菌・抗菌・消臭を施された靴を履き佐々総合病院の職員は今日も仕事に勤めます。



お店にささ舟を持参すると以下の特典が受けれます。
・洋服30%OFF (ワイシャツ・スーツ・白衣は除く)
・スニーカークリーニング 750円 → 500円
※1回限り有効です。ささ舟1冊につきお1名様までが対象となります。
有効期限：2019年12月31日まで

来店
チェック欄

店名：ひばりクリーニング 田無店
住所：〒188-0011 東京都西東京市田無町4-23-4
営業時間：平日：8：00～20：00
土、日、祝日：9:00～20:00
定休日：年末年始5日とお盆休み5日
お問い合わせ：042-469-3500

Medical Recipe

佐々っとレシピ -パンプキンスープ-

調理の際包丁で手を切りやすいかぼちゃですが、今回は包丁を使わず作れるかぼちゃ料理を紹介します。



<材料 2人分>

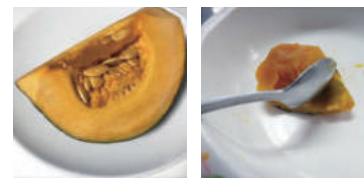
かぼちゃ (正味量)	200g
牛乳	400ml
顆粒コンソメ	小さじ1
塩	少々
有塩バター	15g
玉ねぎ	40g
有塩バター	少々
パセリ	少々

① かぼちゃを電子レンジで4分ほど温めます。

② 温めたかぼちゃの種とワタをスプーンでとります。

③ かぼちゃの皮もスプーンでとります。

【POINT!】 電子レンジで温めると
スプーンで皮も剥がせます！



④ かぼちゃをミキサーにかけペースト状にします。

(スプーンでつぶしても可)

⑤ ④とコンソメ、塩、バターを合わせて弱火で温めます。

⑥ 玉ねぎをスライスし、バターと炒めます。

(弱火でゆっくり加熱すると玉ねぎの甘味がでて良いです)

⑦ ④に⑥を盛りつけパセリを散らして完成。

医療公開講座スケジュール


佐々総合病院は、地域のみなさまを対象に医師や医療技術者の立場から医療についてわかりやすく解説する「医療公開講座」を予約不要・無料で開催しています。みなさまお誘い合わせの上、ご来場いただけますようお願い申し上げます。会場は佐々総合病院3号館4階ホールとなります。講師の都合により日時、会場を変更させていただく場合がございます。最新情報は、ホームページに掲載しますのでご確認ください。

講座日時	講座名	講師
10/26(土) 14:00-15:00	生理痛と婦人科診療のお話-女性限定講座-	産婦人科 部長 井澤 朋子 医師
11/09(土) 10:00-11:00	冬の感染症を予防する! -インフルエンザ・ノロウイルス-	感染管理認定看護師 北明 幸子
11/19(火) 10:00-11:00	脳梗塞の予防について	内科医系診療部長 脳神経内科 部長 南里 和紀 医師
11/28(木) 15:00-16:00	薬剤師さんに聞きたいQ&A	薬剤科 薬剤師 穴戸 智子
12/03(火) 16:00-17:00	12月7日の大規模災害訓練に先駆けて 災害医療のお話	外科 医長 竹内 俊介 医師
12/14(土) 14:00-15:00	腰部脊柱管狭窄症のお話	整形外科 部長 石田 将也 医師
12/21(土) 14:00-15:00	痛みシリーズ③ 腰の痛み予防のお話	リハビリテーション科 理学療法士 粕谷 岳志

救急医療情報キットの無料配布について

要冷蔵

いざという時に必要な情報です。必要事項を記入し、必ず冷蔵庫に保管してください。



救急医療情報キットは、ご自身で記入した「医療情報」を冷蔵庫に保管し、災害時や救急搬送時に、救急隊等が必要な情報を素早く把握できるようにするためのものです。医療情報は、氏名、住所、血液型、かかりつけ医、既往歴などを記入します。独居世帯の増加などに伴い、全国的な広がりを見せている取り組みです。

【配布対象者 (R1年10月時点)】

- (1) 災害時要援護者登録をされている方
- (2) 65歳以上の者のみの世帯に属する方
- (3) 介護保険の要介護認定を受けている方
- (4) 身体障害者手帳を交付されている方
- (5) 愛の手帳または療育手帳を交付されている方
- (6) 精神障害者保健福祉手帳を交付されている方
- (7) 国または東京都が医療費の助成の対象としている難病にかかっている方
- (8) その他配布を希望する者で市長が認めた方

【申請方法及び申請場所 (R1年10月時点)】

本人確認書類持参の上、「救急医療情報キット申請書」を下記のいずれかの窓口提出する。

- ① 保谷庁舎 防災センター5階 危機管理室
- ② 田無庁舎1階 高齢者支援課および障害福祉課窓口
- ③ 障害者総合支援センター (フレンドリー)1階事務室

≪受付時間≫ 平日(祝日を除く) 9時～12時および13時～17時。

●お問い合わせ 西東京市危機管理室 Tel 042-438-4010

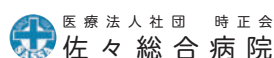
●救急医療情報キットについて ※今後配布対象者拡大予定。詳しくはホームページをご覧ください。
<https://www.city.nishitokyo.lg.jp/kurasi/iza/bosai/josei/iryoukitto.html> または「西東京市 救急医療情報キット」で検索

西東京の歴史年表に掲載する写真を募集中です。

佐々総合病院では、当院と西東京市の歴史にまつわる年表を作成しています。現在、「昔の西東京」の写真を募集しています。年表に掲載しても良い写真をお持ちの方は、当院職員にお声がけください。

【掲載範囲】 佐々総合病院 院内での掲示、広報紙ささ舟への掲載。(提供写真は、大体の撮影場所と撮影年度が分かる物に限らせていただきます。)

お問い合わせ 042-461-1535 佐々総合病院 広報室



住所 〒188-0011 東京都西東京市田無町4-24-15

電話番号 042-461-1535 (代表)
042-461-3333 (産婦人科)
042-461-8383 (健診センター)

ホームページ情報
<http://www.sassa-hospital.com/>
 右のQRコードを読み込んで頂くとサイトにアクセスできます。



健診センターへのお問い合わせ
 結果説明：月・水・木・金 13:30～15:00 結果説明は、検査を受けてから2週間後以降にいらしてください。